

平成30年度掛川塾卒業生

てんぽさんじゅう

点歩30

掛川の  
歴史遺産を  
足で学ぶ

リーダー

兼子正善

本多恵美子

小野厚子

藤田一廣

大石悟志



点歩30のメンバー

# 点歩30

2020/01/26

(てんぽ さんじゅう)

## 掛川の 史跡に点（しる）す 塾生が 歩む平成 30選

設立	平成30年9月		
活動場所	主に掛川市内		
メンバー	掛川塾第11期生 5名		
活動の記録	会報「あしあと」		#1
活動の内容	・ 史跡を訪ねる		
	高天神城跡		#2
	横須賀城跡		#3
	和田岡古墳群		
	神社仏閣		
	(座学) 松本亀次郎 大東図書館「郷土ゆかりの部屋」		
	vs 浅羽佐喜太郎 袋井市郷土資料館		#10
	大須賀歴史民俗資料館		
	講演		①
	・ 歩く		
	史跡訪問とは別にウォーキング／自然観察に重点		
	潮騒健康ウォーキング		#9
	小笠山北麓（自然観察）		#12
	倉真から粟ヶ岳		#13
	六枚屏風		#14

# あしあと

★★☆ 点歩30からの便り ★☆☆  
第 1号 2018年9月23日

## 【誕生の巻】

命 名 点歩30

掛川の 史跡に点（しる）す 塾生が 歩む平成 30選

誕生日 2018（平成30）年9月23日

誕生地 掛川市22世紀の丘公園  
「たまり～な」大研修室  
掛川市満水1652

親の一言 (大石悟志) 足は短いですが、しっかりと足跡が残せる活動をしたい。

(小野厚子) ”点歩30” 名前決定！ たくましく育ちましょう♪

(兼子正善) 腕白でもいい！元気に育ててほしい（ん、！？）

(藤田一廣) 末永く、楽しい”点歩30”にそだってほしい！

(本多恵美子) 歴女に成長。末永くよろしく。



## 【高天神城の巻】

高天神城を制する者は遠江を制する、と戦国時代に謳われた堅城との由。  
今日が点歩30初回の試み。

追手門前

ここから登る。

この「難攻不落の名城」が築かれた鶴翁山はわずか標高132メートル。  
しかし、登るにつれて息が切れ始める。何しろ今日が文字通り初歩。  
途中棄権者一名発生。



高天神社

鶴翁山頂上に高天神城・西の丸（丹波曲輪）が位置し、現在は  
高天神社がある。



（悟志先輩の一口メモ）

神社参拝路の歩き方：拝殿に向かって左側通行遵守のこと。中央と  
右側は通らない。帰路も同様。

獅子鼻砦

六砦のうち唯一菊川市に位置する。曲輪を目指して登っていく途中  
で天地を揺るがすような悲鳴。ぎょっとして見ると、なんと蛇が逃げ  
惑っていた・・・。

昼食

刺身定食が美味かった！@魚幸  
もっとすごい「うお〜っ(魚?)定食」が  
お勧めだとのこと。次の機会が楽しみ。



## 【横須賀城の巻】

横須賀城 この城はいわゆる平山城で前回の高天神城に比べると昇り降りがずっと楽。高天神城奪還目的の最前線の城郭として兵隊が進退迅速に躍動したのだろうな、などとしばし空想にふける。



三熊野神社 案内をお願いしていた人（宮司？）と手違いで会えなかった。なんとなく所在ないまま境内を後に。



清水邸庭園 庭園は美しく管理されていた。門前にボランティアと思しき婦人がひとり掃き掃除をしている姿があって、地元の人たちのこの庭園に対する取り組み姿勢が窺えた。また当時の建物の保存・管理について遠州横須賀倶楽部の代表の方（当メンバーの一員の同級生との由）に案内されて随分と勉強になった。感謝。



小石屋 名代の「後掛けソースやきそば」で昼食。メンバー5人で店を貸し切り？



## 【浅羽佐喜太郎公記念碑の巻】

**郷土の偉人** 掛川・大東の松本亀次郎が日中友好の懸け橋であれば、浅羽佐喜太郎公\*記念碑は今なお照らす日越友好の金字塔と称される。そこで、本日はお隣の袋井市まで足を延ばした。

\* (注) 記念  
現代日本語では「記念」と書くが、中国語では「紀念」とも書く。本碑文は設立当時使用された漢文が反映されている事によるとの由。



袋井市梅山の常林寺境内にある記念碑（袋井市指定文化財）

**建立100年展** 昨年は記念碑建立100年を期して特別展が催され、平成天皇皇后両陛下が袋井市郷土資料館と常林寺を私的にご訪問されたことは記憶に新しい。今回われわれの訪問時にはその当時の印象の名残がかすかに感じられたが、平日であったこともあり、閑散としていた。それでも担当学芸員(?)が正味2時間懇切丁寧に案内・説明してくれたことに感銘を受けた。

**浅羽海岸線** 袋井市郷土資料館で紀元前1万3千年以降の海岸線の推移に関する展示があった。袋井市海岸線はかつて隆起し、このため江戸期には原野谷川が遠州灘に流れ込むには海岸線に沿って東行し、掛川・横須賀方面まで至っていたとのこと。横須賀藩領であった原谷・本郷地区の年貢米が原野谷川から横須賀城まで船で運ばれていたと聴いていたが、この図をみて初めて得心した。

**昼食@福田港** デッキに出て遠く水平線を望み潮風に包まれて海鮮をいただく。至福のとき。



つまみ (鮭の角煮とくるみ小女子)



刺身定食

歴史講演会を開催しました。

令和元年5月9日

佐藤収一先生

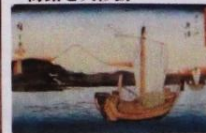
## 歴史講演会 掛川藩の終焉と転封松尾藩顛末



陸路を大移動



海路を大移動



今年、掛川藩終焉となり、上総国柴山への転封から数えて百五十年の歳月が経過しました。

なぜこのようなことが起こったのか。時代の運命に翻弄されていった掛川藩士。その後の松尾藩士の人々の苦難な生き様を二点にまとめてみました。

① 新政府から転封を命じられた掛川藩は、その時どのような対応をしたのだろうか。又、残された殿様なき掛川の人々は明治維新を誰がどう対応していったのか。

② 転封後の上総国松尾藩ではどのような城づくりが行われたのか。又、その後の廃藩置県後の殿様だった太田資美の動向や松尾藩士はどうなっていたのか。

平成31年2月24日（大東北公民館） 佐藤収一著



点歩30（掛川塾11期生）



# 徳川家康の東遠江奪還戦

## —横須賀城築城と高天神城奪取—

徳川家康と武田信玄・勝頼が激戦を繰り広げた高天神城。  
横須賀城や六砦を使って戦略的に勝ちを収めた家康の戦いを紐解きます。

- 【講 師】加藤 理文氏（公益財団法人日本城郭協会理事）
- 【日 時】令和元年 9 月 16 日（月・祝） 開場 13：00・開演 13：30  
終演 15：00（予定）
- 【場 所】大日本報徳社 大講堂  
\*駐車場の数に限りがあります。近隣の有料駐車場を併せてご利用ください。
- 【参加費】全席自由 一般 500 円／サポーター 400 円／中学生以下 300 円  
※未就学児入場不可
- 【定 員】70 名
- 【申込み】8 月 12 日（月・祝）お電話にて事前申し込み  
先着順 0537-62-2061（掛川市二の丸美術館）  
\*休館日 8 月 26 日（月）、9 月 2 日（月）～6 日（金）
- 【来場特典】来場時「難攻不落の山城 高天神城 と 江戸の華 横須賀城」の  
観覧券をプレゼント



加藤 理文 かとう・まさふみ

1958 年生まれ、駒澤大学文学部歴史学科卒業・博士（文学）、  
公益財団法人日本城郭協会理事・学術委員会副委員長。

主な著書

『織田信長の城』（専著・講談社 2016 年）

『よくわかる日本の城』（専著・学研プラス 2017 年）

## 【潮騒健康ウォーキングの巻】

掛川市スポーツ振興課主催。潮騒橋から遠州海岸沿いをコースに、スポーツ推進委員が「正しい歩き方」の講習を行います、との謳い文句に釣られて参加。

➡史跡を巡るには先ず正しく歩くことが肝心！

大東海岸



東風強く雲せわしげに飛び交ってもうしろ姿に五月空

無事帰着



出発地点の潮騒橋に無事帰り着く。砂が顔に痛かった・・・。

食処 七海 昼食は 七海御膳を堪能



# あしあと

★★★ 徒歩30からの便り ★☆☆  
第 12 号 2019年10月15日

## 【小笠山散策の巻】

**狙い** 猛暑が去って歩くのに心地よい季節を迎え、足慣らしのため小笠山北麓の森林浴コースを散策してみる。

**出発** 国有林です。ルールとマナーを守って楽しく散策しましょう。  
富士見台霊園駐車場から南へ10分ほど森林果樹公園東端に沿って進み、林道に入る。



**台風一過** 台風19号が伊豆半島に上陸してから3日。山中はさすがに荒れてはいた。それでも生き物は強い。右は、盛りを過ぎたハギと群れをなすアサギマダラのひとつ。このほか薄紫色のアケビと朱色の烏瓜が目についた。



岸壁から覗く萩



アサギマダラ

### ドンドン隧道

マスラノ池を右に見て下り坂。与左衛門池にいたる手前にドンドン隧道。



### 案内看板

与左衛門池にアオサギが一羽。ここを通過して小笠山案内看板へ。終点。

ここを歩いてきたの! ?

**所要** 80分、5,000歩  
**欠席** 藤田（台風の後片付け）  
小野

## 【倉真から粟ヶ岳へ】

倉真温泉バス停→榎辻→粟ヶ岳→榎辻→馬平→倉真温泉バス停 17,000歩

バス停から

榎辻へ 錦秋を愛でるべくいざ倉真の山中へ。  
目指すはバス停より60分の榎辻。なだらかな  
上りで身体が温まる。汗もうっすら出るか。



榎辻から 榎辻にて北へ馬平（まんだいら）を経て  
岳へ 松葉の滝へ向かう路と東へ向かい粟ヶ岳へ  
通じる路とに岐れる。このとき、なぜか  
後へ足を進めた（2対1多数決）。

一路粟ヶ岳へ



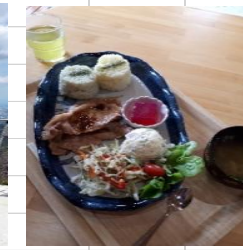
結構効くなあ



余裕だね



富士山は見えませんが



かっぱしランチ

帰路

榎辻から馬平  
經由倉真川の  
源流へ



きれいだなあ！  
〇〇さんと  
どっちだ！？  
（談）悟志



かえで



（これも）かえで？



松葉（地区）の滝

倉真～粟ヶ岳山中は杉林が意外と管理されていて錦秋どころではなく拍子抜けした。  
だが、帰路馬平から倉真川源流に達するとその両岸は杉植林以前からの落葉樹が多い。  
容易に見分けのつく楓や公孫樹の紅葉が期待通りの装いを現した。源流の河床の岩肌が  
暗色に歳錆びて岸辺の錦秋の色合いもただならない。さらに瀬音が調和してあたかも  
別天地の趣き。再訪すべし。

## 【小笠山六枚屏風の巻】

小笠神社Pから

山頂へ 小笠山山頂確認  
(264.8m 四等三角点)

途中神社参道  
スギ(市指定天然記念物)  
と境内のアカカシ  
(保存樹木)を鑑賞



山頂から六枚屏風を  
目指して切り立った崖  
(ケスタ地形)に沿った  
山路を下る



さあ屏風だ



よし、屏風岩を見るぞ～！



これが六枚屏風



狭～い 抜けられない！  
誰か手を貸して～！！

帰りも大変



帰路は沢を登って・・・  
(登山かよ～っ)



やっと尾根道へ戻りました  
紅葉のお出迎えにやれやれ

念願の六枚屏風

皆さん、お疲れさまでした。  
そしてありがとう。

想像以上に険しい”六枚屏風”でもすごーく楽しかった。大変だったけど楽しかった。

<中略> 今日の体験ができたことに”感謝”。(O談)

# 点歩30活動計画（案）

2020年度

4月	西郷茶畑ウォーク	五明の茶畑～素掘りのトンネル + 平塚古墳（市史跡）
5月	潮騒ウォーク	潮騒橋～清明塚（市史跡）
6月	小笠山森林浴	富士見台霊園～展望台～ドンドン隧道
7月	}	イン・ドア活動（座学・講演会・展示会等）
8月		
9月		
10月	和田岡古墳群	（国史跡）吉岡大塚古墳と春林院古墳 ○下半期への足慣らし
11月	倉真	百観音と松葉の滝 紅葉狩り
12月	日坂・小夜の 中山	事任八幡宮～久延寺 途中 佐夜鹿一里塚（市史跡）
1月	粟が岳	太平洋と南ア（+富士山）を一望する
2月	梅見	横須賀城跡（国史跡）で梅見と 江戸の風情が残る横須賀町巡り
3月	花見	さくら咲く学校 山桜を観る （森の都自然路コース）

ご静聴ありがとうございました

”点歩30”